

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山
愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内
電話：0567-55-9993

タイがいるギョ♡



夏休み、子供たちは自由研究という宿題に頭を痛めてはいないでしょうか？でも、自由研究を軽視してはいけません。日本で発見された恐竜の大半は、そのほとんどが子供たちの自由研究で発見された化石がきっかけとなり、その後の調査によって、その地域の恐竜世界（中生代：今から約1億年前）がわかったそうですし、他にも、子供たちの自由研究がきっかけとなった発見があるそうです。

これまで『あいさい通信』で何度も紹介してきましたが、愛西市の木曾川も自然の宝庫です。木曾川の河川敷にどんな植生があるのか、どんな生物が棲んでいて、どんな生活をしているのか。子供視線で見直せば、大発見があるかもしれません。

そこで、8月3日（木）には、馬飼大橋下の木曾川河川敷（羽島市）で木曾川下流河川事務所が主催する水生生物による水質調査が開催されます。昨年の調査では、ウナギやアユの他、ネコギギのような珍しい魚もいました。

また、8月6日（日）午前9時～、11日（祝・金）午後1時～、20日（日）午前9時～、愛西市観光協会が主催して葛木港周辺で木曾川観察と地引網体験を実施します。集まった子供たちと一緒に網を引いて、クロダイ、ボラなどをつかまえます。釣りを趣味にしている人以外で、クロダイが愛西市の木曾川にいと知っている人は少ないでしょう。愛西市の木曾川は海水と淡水とが混じり合う汽水域にあります。河川敷にはシジミの他、ベンケイガニ、テナガエビなど蟹やエビもたくさんいます。

今年はどんな魚や生物が見つかるのでしょうか？ひと夏の体験は、視点を変えれば、面白い自由研究の対象になると思います。地引網体験に関するお問い合わせは、愛西市観光協会へ電話（0567-55-9993）下さい。

（2頁に続く）

自由研究 地名探検



11月4日（土）、5日（日）に愛西市の文化祭・芸能発表会が開催されます。今年の文化祭、愛西市教育委員会の佐織公民館では「愛西市の謎を解き明かせ！地名探検」という企画をしています。「地名探検」では、8月初旬から愛西市佐織公民館、愛西市文化会館などで配布する「探偵ノート」に基づき、みなさんに地名探偵になっていただき、「報告書」を作成していただき、文化祭会場に展示するそうです。

常日頃から疑問に思っていることがあれば、子供たちと夏休みの自由研究に合わせて調べてみるのも楽しいと思います。例えば諸桑（もろくわ）町、諸桑町には何があるの？、諸桑の「桑」って何？、蚕の餌となる植物の桑ですね、古い世代には桑の実は懐かしく甘いフルーツかもしれません。実の季節（写真は6月の木曾川背割堤にて撮影）は終わってしまいましたが、現在も愛西市のところどころに雑木として残っています。また、鋏という字を使う場合もありますが、「鋏」って何？、何に使う道具でしょうか。そして、諸（もろ）の語源は？、調べているとだんだん面白くなってきませんか。

選択文化財 “子供ザイレン”



津島神社周辺の愛西・津島市域などには、尾張津島天王祭の前後に、尾張津島天王祭を真似て、地域の子供たちが中心になって、祭壇を作りお供えし、夜に花火大会などを行うことにより、子供たちの健やかな成長を願う風習（子供ザイレン）が残っています。とはいえ、地域の文化は、江戸時代からの伝統文化である伊勢講・秋葉講、あるいは、地蔵盆、他の民衆文化などと混合して継続されているため、実施内容はそれぞれの町々で様々です。

今年3月、文化庁が、愛西・津島市などで開催されている“尾張西部の子供ザイレン”を記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択しました。今後、文化庁の調査を経て、来年以降登録されます。事前調査（6月末状況）によると、“尾張西部の子供ザイレン”は下記地区で開催される予定です。他に開催されている町をご存知の方は、愛西市教育委員会へご連絡下さい。

<開催日>	<開催地>	<開催日>	<開催地>
7月 9日（日）	江西町	7月23日（日）	下一色町
7月25日（火）	見越町	7月29日（土）	西赤目町
7月29日（土）	四会町	7月29日（土）	小茂井町
7月30日（日）	東赤目町	8月 6日（日）	塩田町
8月 6日（日）	内佐屋町	8月13日（日）	千引町
不明	森川町	不明	川北町
不明	下大牧町		

蓮見の会 開催

7月8日(土)・9日(日)、愛西市の森川花はす田において、観光協会主催で恒例の「蓮見の会」が開催されました。今年は素晴らしい快晴に恵まれ、猛暑日で熱中症の心配もされましたが、両日ともたくさんの方が会場に来られ、たくさん咲いた美しい蓮の花に酔いしれました。

名鉄佐屋駅から無料シャトルバスも運行され、記念式典、野点、物産販売など各種催事が開催され、先着の方に記念品として涼しげな蓮の葉が描かれた“うちわ”が無料配布されました。



夏の風物詩・斎竹

尾張の夏の風物詩「尾張津島天王祭」が23日(日)に開催されます。2016年12月、全国33件の「山・鉾・屋台行事」の一つとして、ユネスコの無形文化遺産に登録され、最初の祭礼となります。

7月8日(土)には、東保町の農道他に斎竹が立てられ、東保町公民館などで祭の準備が開始されました。



揖斐川 水の都 大垣

あいさいボランティアガイドの会では、6月16日(金)に研修会として「松尾芭蕉『奥の細道』結びの地・大垣」を視察しました。午前中は「ふるさと大垣案内の会」の方に市内を案内していただき、松尾芭蕉が『奥の細道』の中で詠んだ句を刻んだ、大垣市内を流れる水門川に沿って建てられた句碑群と大垣市の「結びの地記念館」などを巡りました。松尾芭蕉が『奥の細道』で詠んだ句の文学的意義について、また、大垣の立地として、大垣城の歴史、関ヶ原合戦の前哨戦、中山道や美濃路などの交通網、揖斐川流域の水運について学ぶことができ、ガイドさんの得意分野で解説される話術も参考になりました。午後は、自由散策して、大垣城などを各自見学したりして有意義な一日を過ごしました。また、『奥の細道』は「蛤のふた見にわかれ行く秋ぞ」で終わっており「結びの地」という言葉は、大垣市教育委員会が昭和30年代に発案したこと、「結びの地記念館」は『奥の細道』全行程について解説している全国唯一の資料館という話題などは初耳でした。大垣市が揖斐川流域の水郷地帯にあり、桑名市を結ぶ航路にある港町という交通の要衝にある点で、愛西市の佐屋町(港町)との共通点を再認識した旅となりました。



～ 愛西市周辺の観光 今後の予定 ～

- 7月30日(日) 船頭平閘門舟遊び(於:船頭平閘門 主催:NPO 法人木曾川文化研究会)
30日(日) 勝幡地区納涼夏祭(於:勝幡駅前広場他)
8月 3日(木) 水生生物による水質調査 <雨天時は10日(木)に変更>
(於:馬飼大橋下の木曾川河川敷(羽島市) 主催:木曾川下流河川事務所)
5日(土) 愛西市納涼まつり(佐屋会場、八開会場)
6日(日) 愛西市納涼まつり(立田会場、佐織会場)
6日(日)・11日(金・祝)・20日(日) 漁業体験
(於:愛西市葛木町・三和町周辺の木曾川 主催:愛西市観光協会)
30日(日) セントレア・あま地区観光物産展
10月 8日(日) 鵜戸川釣り大会

V G 8月定例会の予定

集合時間:8月20日(日)13時～ 集合場所:安泉寺(三和町)
内 容:2017年度の事業について

◇7月定例会(7月18日(日)9時～12時、於:愛西市中央図書館、21人出席)議事録

1)8月の催事について

愛西市観光協会主催の漁業体験、その他催事への協力体制を確認しました。

2)5月～7月初旬の活動について

①図書館講座(5月21日)②大垣研修(6月16日)、③蓮見の会(7月8・9日)での活動 他について、良かった点、改良すべき点などを話し合いました。

3)分科会(佐屋街道について資料配布)

◇あいさい講座(午後2時～4時)

愛西市中央図書館の「あいさい講座」として、「あいさいワンダーランド(湾処)・幻の堤防と尾張津島天王祭

と題した講演会(講師・若山)を開催し、ボランティアガイドの会員を含め約60の方に聴講いただきました。

講演では、愛西市の木曾川に広がる美しい湾処の風景と干潮時だけに現れる幻の堤防を紹介しました。また、尾張津島天王祭は、かつて旧暦6月15日(今年は8月6日)に開催されてきました。いわゆる大潮の日にあたり、佐屋川が流れていた130年前までは、佐屋川の上げ潮によって市江島から津島へ、下げ潮によって津島から市江車へ戻っていました。現在の伊勢湾の潮位と湾処が広がる木曾川の水位変化を調べてみると、どんな状況だったか想像できます。



出逢い・ふれ逢い・あいさい写真コンテスト 締め切り迫る

詳細は、愛西市観光協会 HP: <http://www.aisaikankou.jp> を参照下さい。

応募・問い合わせは、愛西市観光協会まで

愛西市観光協会:愛西市森川町井桁西 27 電話:0567-55-9993